

プロジェクト報告書

団体名 文化・芸術いきいきネットワーク

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現がですます調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないもの)の提出をお願い致しますを添付して下さい。

1. プロジェクト名

高齢化社会を元気にする「福祉施設アクティビティの実践と定着化」
「オペラ コンサート」の出前公演

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

1. 施設の暮らしは地域との交流も少なく、ましてやクオリティの高い文化・芸術、学びの場は少なく、無気力・無感動な日常を送っている。
2. 高齢者の尊厳を第一に考えるべきだが、心の通った文化性のあるアクティビティの提供は少ない。(効率化第一で、画一的暮らしの提供が多く見られる)
以上の現状と体験を踏まえ、<本物の感動が元気な高齢者に欠かせない>との認識に立ち、プロジェクトを構築、その実践・定着化と、拡大を図る。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

福祉施設でオペラコンサートを前出し、開催した。
国立音楽大学客員教授(演出家)の中村敬一先生に協力を頂き、親しみやすいオペラを制作し、楽しい音楽劇を提供した。今回は新しいオペラ「魔笛」を企画・制作し、実施した。
過去3回の実績を元に、より親しみやすく、施設高齢者の参加型を考え、よりバージョンアップした作品を提供した。
<実施施設> 南台シニアセンター「敬愛の森」平成28年 11/3 演目:上水オペラ「羊飼いと狼」と日本の愛唱歌
フェローホームズ デイサービス 11/23 演目:上水オペラ「浅草オペラ」と日本の愛唱歌
上砂地域福祉サービスセンター 29年 2/1 演目:上水オペラ「魔笛」と春のメロディー
フェローホームズ「仲間の家」 3/3 演目:上水オペラ「魔笛」と春のメロディー -

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

市内全域の高齢者福祉施設に上演の希望を募り、本年は4施設に絞って実現した。

今年度は、新しいオペラとして、モーツァルトの「魔笛」を、中村敬一先生に企画・制作・演出を依頼しました。「魔笛」は 1791 年初演のものですが、このハイライトシーンを高齢者用に、解りやすく、楽しいオペラとして作り、皆さんに喜ばれました。

- <工夫事項>①中村先生と当会員が全施設を事前訪問し、施設に合う、高齢者に分かりやすい舞台作りを考えた
- ②高齢者の参加シーンを設定し、事前練習をする事で交流を深め、本番参加の期待感を醸成した。
 - ③出演者との交流の場を設け、より親しみを感じてもらおうよう企画した。
 - ④チラシやプログラムは当会で準備し、広報活動等をも担い、施設の負担を軽減した。
 - ⑤施設・入居者との交流の場を、多く設けて、それぞれのニーズを的確に捉えるよう工夫した。
(事前訪問、事前練習(稽古)、本番等)

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

①オペラというなかなか触れる事のない世界を、高齢者施設に届ける事が出来、良かった。②中村先生のご尽力で4パターンのプログラムができ、それぞれに参加するシーンを導入した事が、大変喜ばれた。③施設の高齢者のみならず、地域の方々からの賛同の声が多く、活動の励みになった。④出演した若い演者との交流はなによりほほえましく、高齢者にも、時代を担う若者にも、貴重な体験となったと確信できた。⑤身近な場所で、オペラの舞台を見られるのは嬉しい。
⑥若いオペラニストのアリアを聞くことや、舞台劇を観る事は新鮮な感動です と地域の方の声がありました。

施設の方々と笑顔で、楽しいひと時が過ごせ <本物の感動が高齢者には欠かせない！>を、会のメンバー全員が痛感しました。もっと永く……もっと広く……が切なる願いです。

これらは今回のプロジェクトの補助のお陰です。ただ、この活動は継続と拡大が不可欠と確信しております。

今後ともこの活動にご賛同頂き、配慮いただければ幸いです。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし



音を愉しもう

日本の四季とオペラを楽しむ コンサート

「羊飼いと狼」

～イソップ作～

平成23年11月18日(金)

会場：上砂デイセンター・レストランホール

開演：午後2時～3時

春の小川♪どじょっこ ふなっこ

うれしいひな祭り♪こいのぼり

夏の思い出♪われは海の子

赤とんぼ♪まっかな秋

たきび♪雪の降るまちを

♪それぞれのふるさと…
幼い頃歌った懐かしい曲…
みんなで楽しい時間
さあ 歌いましょう♪



構成：中村敬一

プロフィール／国立音楽大学客員教授。1957年東京生まれ。武蔵野音楽大学同大学院で声楽を専攻、卒業後、舞台監督集団「ザ・スタッフ」に所属してオペラスタッフとして活躍。1989年より、文化庁派遣在外研修員として、ウィーン国立歌劇場にて、オペラ演出を研修。現在、新進気鋭のオペラ演出家として活躍中。

代表作／「フィガロの結婚」、「ドン・ジョヴァンニ」、「ポッペアの戴冠」、「ヒロシマのオルフェ」、「笠地蔵・北風と太陽」、「沈黙」、「ポラーノの広場」、「つめ草の道標」

出演：国立音楽大学学生

ソプラノ・バリトン・ピアノ伴奏

主催 立川市上砂地域福祉センター
企画・運営 文化芸術いきいきネットワーク (通称CAN)
支 援 「Sinjoプロジェクト」市民活動公募助成

「文化・芸術いきいきネットワーク」

お楽しみコーナー



布のアート

慣れ親しんだ布という素材を絵具代わりに使い個性的なアートを創ります。作品づくりをやりやすくするために下絵を用意し、ハサミ・ボンドを使って布を貼っていきます。



(布のアート作品)



「これは初めてだけど、楽しく止められない」との感想も聞かれます。

皮工芸

小さな皮にクレヨンで模様を描き、ブローチや小物入れを製作します。簡単で美しいご自分だけの小物は暮らしに潤いをもたらします。



フラワーアレンジメント

生のお花は癒しの効果もあり、その上、美しいので、お部屋が明るくなります。

難しそうに思われるかもしれませんが、手軽に安く、分かりやすい指導方法で楽しむことができます。



創作折り紙

12月にはクリスマスツリーを、2月は節分の鬼、6月はバラの花というように、季節に合わせ新しい発想で折り紙づくりを支援します。



紙をきちんと折るのは指と頭のトレーニングです。

施設の声コーナー

CANの皆様と最初に活動を行ってから早くも二年が経過します。最初の活動は「中野けいこさん」のピアノコンサート。その後にバイオリンがあり「石田ももこさん」のコンサート。どれも利用者さんと同じくらい職員も楽しませていただきました。

そして、手作業の作品作りでは今までにしたことのない「布アート」「革アート」。職員も利用者さんも不安に感じながらの活動でしたが、CANの皆様の指導もあり、今では定番の活動になりました。

11月はこれまた初挑戦のオペラコンサート、新しい企画に今では不安よりも楽しみの方が大きくなっています。

コンサートや合唱や音楽療法等

“感動”が人に前向きな意識をつくります。楽しいジャズや、シャンソン、親しみやすいクラシックコンサートの開催。合唱や音楽療法では懐かしい沢山の歌を歌い、心豊かなひと時を作ります。講師と共に施設に出向き、音楽をツールにした仲間作りを進め、いきいきとした暮らしを創るお手伝いをします。



「中野けいこさんと共にコンサート」

朗読・音読

健康レベルや好みに合わせ、エッセイや物語、詩の朗読と併せ、参加される皆さんと共に音読を楽しんだり、様々なプログラムを用意し、本の世界を楽しみます。滑舌にも効果的です。